



# 大分大学

# 教育学部

# 大学院教育学研究科

平成 **28** 年度 **概要**

*The Faculty of Education*

*Graduate School of Education*



OITA UNIVERSITY

## はじめに

本学部は明治6年に旧府内藩文武館を改称した府内学校を起源とする大分県師範学校(明治9年)の創立に始まります。以来、140年余りの歴史の中で、旧制諸学校である大分師範学校と大分青年師範学校を総括し、昭和24年新制大分大学学芸学部として新たな歩みを開始し、昭和41年教育学部への名称変更、平成11年教育福祉科学部への改組を経て、平成28年4月より小学校教育コースと特別支援教育コースから成る教員養成に特化した教育学部となりました。教育学部は地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に的確に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

「大分から世界へ」を合い言葉に国際化・情報化社会に対応できる感性豊かな発想と表現力を持った人材の養成をめざして平成元年に設置された情報社会文化課程及び、国立大学法人で初の福祉系課程としてすべての人が健やかで安寧に生活する福祉社会の実現に貢献できる人材の養成をめざし平成9年に設置された人間福祉科学課程は、平成27年度入試をもって募集を停止することになりました。新入生の募集は停止しますが、これまで多くの有為な人材を輩出してきた両課程の最後の在学生在が卒業するまで、学部として責任をもって教育にあたる所存です。

また平成4年に設置された大学院教育学研究科も平成28年4月より大きく変わりました。学部教育で修得した学校教育の基本的知識ならびに学校教育現場における教師としての経験や知識を土台に、新しい学校づくりにおいて指導的役割を果たし得るスクールリーダー(管理職等)を養成する学校経営コースと学校現場における今日的課題に対応し得る教員を養成する教職実践コースから成る教職開発専攻(専門職学位課程)、いわゆる教職大学院を新たに設置しました。これからはばらく大学院教育学研究科には学校教育コースと臨床心理学コースから成る学校教育専攻(修士課程)と教職大学院を併設しますが、将来的には学校教育専攻(修士課程)の募集を停止し、教職大学院に一本化する予定です。

教育学部、教育学研究科は地域密着型を目指す大学として、義務教育諸学校に関する地域の教員養成機能の中心的役割を担うとともに、地域の教育研究や社会貢献活動等を通じて我が国の教育の発展・向上に寄与することを基本的な目標とし、社会が求める高い付加価値をもった教員の養成を図っていきます。

平成28年6月

大分大学 教育学部長  
大学院教育学研究科長 古賀 精治

## 目次

はじめに	1	沿革	10
教育課程と進路	2	附属教育実践総合センター	11
学校教育教員養成課程	3	教育研究所	12
出身都道府県別学生数	6	附属学校園	13
平成27年度卒業生の就職・進学状況	6	機構図	15
大学院教育学研究科	7	建物配置図	16
授業担当教員紹介	9		



## 教育学部

( ) 内は入学定員

### 学校教育教員養成課程 (135)

小学校教育コース  
(125)

特別支援教育コース  
(10)

#### 教養科目

〈全学共通科目〉 地域の教育課題、情報処理入門 〈外国語科目〉 小学校英語演習

#### 学部共通科目

人権教育論、生涯学習概論、教育支援実践研究、板書演習、教育コミュニケーション力の開発

#### － コースの主な授業科目 －

教師学、教育本質論、発達と教育の心理学  
現代社会と教育、教育制度・経営論  
各教科指導法（小学校）、特別活動の指導法  
教育課程・方法論、生徒指導論、教育相談  
教育実習、教職実践演習  
初等教育教科に関する科目  
教職入門ゼミ、教職展開ゼミ  
小学校学級指導演習  
小学校授業論、外国語活動指導法  
幼稚園教諭のための科目  
中学校教諭のための科目など

特別支援教育概論  
障害児教育総論  
知的障害児の心理・生理・病理  
知的障害児の教育と指導法  
肢体不自由児の心理・生理・病理  
肢体不自由児の教育と指導法  
病弱児の心理・生理・病理  
病弱児の教育と指導法  
重複障害教育総論  
学習障害 (LD) 児等の心理と指導法  
障害児教育史など

## 卒業後の進路

教員（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校・学級、幼稚園）  
大学院進学、企業（教育関係など）  
公務員（事務職、専門職など）



地域の教育に貢献する質の高い教員を養成します

*School Education Course*

## 学校教育教員養成課程

地域の学校教育の発展のため、教育に関する専門的な知識・技能を学校現場の中で創造的・総合的に活用し、新たな学びや地域の教育課題に適切に対応できる実践的指導力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

## 小学校教育コース

入学当初から、初等教育教科に関する科目の全教科及び基本教職に関する科目を学び、小学校教員に求められる基礎的資質、知識を身に付けます。

その上で、教育展開科目や附属小学校または、公立小学校での教育実習での体験、実習を通して、学校を取り巻く地域の教育課題への意識や、教師としての自覚を形成するとともに、子ども理解と適切な指導力を身に付けます。

4年間の学習・体験を通して、新しい時代を担う子どもたちの学ぶ力を育む実践的指導力を持ち、教育現場で生起する諸課題に適切に対応できる小学校教員を養成します。



教育実習（小学校）



情報処理入門

## 特別支援教育コース

入学当初から、知的障害や肢体不自由などのある子どもたちと直接触れ合う機会を多く設けています。その実践的な体験を重視しつつ、障害児の教育・心理・生理に関する専門的な知識と教育課程・指導法について学びます。

特別支援教育に関する教育実習は、附属特別支援学校における事前指導・教育実習（主免）の他、公立特別支援学校における体験的な実習があり、充実しています。また、基礎免許を取得するため、小学校にも教育実習に行きます。

その上で、子どもたちの特別な教育的ニーズに応えられる特別支援学校の教員、および小学校や中学校の特別支援教育の中心的役割を担える教員の養成を行います。



知的障害児教育演習 指導の様子



障害児教育演習 指導の様子

## 取得できる免許と資格

### 取得可能な免許

卒業のために必要な単位を  
取得すれば得られる免許

#### 小学校教育コース

小学校教諭一種免許

#### 特別支援教育コース

特別支援学校教諭（知的障害・肢体不自由・病弱）  
一種免許と小学校教諭二種免許

卒業のために必要な単位以外にさらに必要な  
単位を取得すれば得られる免許

#### 小学校教育コース

次のいずれか1つを選択可能

- ・ 幼稚園教諭一種免許
- ・ 中学校教諭一種免許（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）
- ・ 高等学校教諭一種免許（国語、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語）
- \*中・高の両方の取得が可能だが、1つの教科に限る。
- ・ 特別支援学校教諭二種（知的障害・肢体不自由）

#### 特別支援教育コース

小学校教諭一種免許、および次のいずれか1つを選択可能

- ・ 幼稚園教諭一種免許
- ・ 中学校教諭一種免許（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）
- ・ 高等学校教諭一種免許（国語、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、英語）
- \*中・高の両方の取得が可能だが、1つの教科に限る。

### 想定される主な就職先・進路

- 教 員／小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、  
幼稚園、小学校特別支援学級、中学校特別支援学級
- 公 務 員／大分市役所、鹿児島県庁ほか
- 企 業／㈱コスモス薬品、大分こども病院、㈱サンマーク、  
戸高鉱業社、アイティーアイ株式会社、  
株式会社ハタダ、諏訪の杜病院ほか
- 大学院進学／大分大学、九州大学

※教育福祉科学部での就職先・進路先を示しています。

### 教育実習計画

22年度入学生から始まった新カリキュラムでは、教育実習と実習の成果を省察する授業が一体的に構成されている点が大きな特徴です。こうした新カリキュラムを通して学び、最終的に「教職実践演習」で教員としての最小限必要な資質・能力が獲得されているかを確認します。

### 平成27年度卒業生の教員免許取得状況

平成28年4月1日現在

免許状種類		課程					
		小学校	中学校	特別支援学校	幼稚園	高等学校	計
学校教育課程	1種	90	78	9	23	72	272
	2種	10	2	11	3		26
情報社会文化課程	1種		2			9	11
	2種						0
人間福祉科学課程	1種		5			24	29
	2種						0
小計	1種	90	85	9	23	105	312
	2種	10	2	11	3	0	26
合計		100	87	20	26	105	338

◻ は存在しない免許の種類



※特別支援教育コースでは、小学校または中学校に基礎免許の実習に行きます。

# 出身都道府県別学生数（出身校）

平成28年5月1日現在

課程別	年次	教育学部				学校教育課程			情報社会文化課程			人間福祉科学課程			合計
		1年	2年	3年	4年	2年	3年	4年	2年	3年	4年				
都道府県															
大分県		63	63	65	72	24	26	31	26	42	36				448
福岡県		11	8	8	4	6	4	6	12	14	12				85
佐賀県		3	3	2	3	1	2	1	5	1	1				22
長崎県		13	14	9	9	4	2	1	8	7	11				78
熊本県		11	5	6	9	4	4	6	5	5	9				64
宮崎県		6	3	4	7	2	2	2	7	7	10				50
鹿児島県		3	3	4	2		1		9	5	3				30
沖縄県		1						1							2
高知県									1						1
愛媛県		3	2	1	3	3		2	5	5	3				27
香川県		2									1				3
徳島県								1							1
山口県		7	3	3	2	1	3		4		1				24
広島県		5	2		2		1	1	2	3	2				18
岡山県		3			3				2	2	2				12
島根県		2		2	1	1		3	2						11
鳥取県		1				1			1	1					4
和歌山県			1	1							2				4
兵庫県		2	1		4	1		2	5						15
奈良県				1	1						1				3
大阪府		1				1		1	1		1				5
京都府							1								1
滋賀県						1				1					2
三重県															0
愛知県		1					1								2
岐阜県			1								1				2
石川県											1				1
新潟県															0
岩手県															0
群馬県															0
栃木県											1				1
茨城県		1			1					1					3
静岡県		1				1									2
山梨県									1		1				2
千葉県		1			1										2
東京都		1				1	1				1				4
長野県				1						1					2
富山県			1			1					1				3
福井県										1					1
青森県															0
埼玉県							1								1
神奈川県		1		1											2
北海道				1											1
その他								1			1				2
合計		143	110	109	124	53	49	59	96	96	102				941

# 平成27年度卒業生の就職・進学状況

平成28年6月15日現在

課程別	性別	卒業者数	公立学校教員(正規採用)					私学教員	臨時教員	官公庁等	企業等	医療・福祉	進学等	その他
			小学校	中学校	高等学校	学特別支援校	幼稚園							
学校教育課程	男	42	10	5	1			16	1	1	1	7	0	
	女	59	19	4		6	2	5	11	1	6	4	1	
情報社会文化課程	男	16									12	1	3	
	女	32							1	1	24		6	
人間福祉科学課程	男	18							3	7	3	1	2	
	女	72	1					1	2	8	26	23	5	
計	男	76	10	5	1	0	0	0	19	8	16	3	9	
	女	163	20	4	0	6	2	6	14	10	56	23	9	

※自営業は企業へ  
 ※公務員（臨時）は官公庁等へ  
 ※科目等履修生は進学へ

# 大学院教育学研究科

## Graduate School of Education

本研究科は、「学校教育専攻」（修士課程）及び「教職開発専攻」（専門職学位課程）〔教職大学院〕の2専攻で構成されており、学部教育で修得した学校教育の基本的知識、または、学校教育現場における教師としての経験や知見を土台に、高度な研究能力と教育的指導力を備えた人材を育成するため、学校教育に関する理論的、実践的研究をとおして、現代社会がかかえる教育の諸問題に対処しうる判断力と問題解決能力の涵養を図っていきます。

### 教職開発専攻〔教職大学院〕(定員10名)

#### 学校経営コース (定員6名)

いじめや不登校などの様々な教育問題を克服し、組織マネジメント、地域連携などの新たな教育課題に応えながら、子どもたちの健やかな成長をはぐくみ、確かな学力を育てる、創造的な学校づくりを目指して学校運営に取り組む力量を持ったスクールリーダー（管理職等）を養成します。

#### 教職実践コース (定員4名)

子どもたちの基礎的・基本的な知識・技能の修得に加えて、思考力・判断力・表現力等を育成するために、知識・技能を活用する学習活動、課題探究型の学習、協働的な学びなど、新しい学びをデザインできる実践的指導力を持った新人・中堅教員、そして、児童・生徒の生徒指導上の問題に対して、学校内外の人的資源を活用しながら組織的に対応でき、児童・生徒の自己指導能力を育成することのできる実践的指導力を持った新人・中堅教員を養成します。

### 学校教育専攻(定員21名)

#### 学校教育コース (定員15名)

学校教育コースは、教育学、教育心理学、特別支援教育、幼児教育ならびに教科実践などの分野における専門的な学習に基づいて、各分野の諸問題についての理論的研究と現実の教育問題を解決するための実践的研究を行います。

#### 臨床心理学コース (1種指定)(定員6名)

臨床心理学や心理療法、カウンセリング、心理査定などの理論や援助スキルに関する専門的知識の習得および臨床現場での実習を通じて、心理臨床の実践力を養成します。また、さまざまな臨床心理学的課題や心への援助について研究を行います。

※臨床心理学コースは、臨床心理士1種指定を受けており、所定の科目を修めて修了すれば臨床心理士の受験資格の取得が可能



授業風景（学校経営コース）



授業風景（教職実践コース）



実地研究Ⅰ（附属幼稚園）



授業風景（学校教育専攻）

## 平成27年度修了生の専修免許取得状況

平成28年4月1日現在

専修名	免許状種類	小学校	中学校	特別支援学校	幼稚園	高等学校	計
学校教育		2	1	1		1	5
教科教育	国語		1			1	2
	社会		1			1	2
	数学	1	1			1	3
	理科	1	1			1	3
	音楽	2	4			3	9
	美術		2			2	4
	保健体育	1	1			3	5
	技術	1	3			3	7
家政						0	
英語		2			2	4	
合計		8	17	1	0	18	44

## 平成27年度修了生の就職状況

平成28年4月15日現在

専攻	性別	修了者数	公立学校教員				私立学校教員	臨時教員	官公庁等	企業等	医療・福祉	その他	進学の等
			小学校	中学校	高等学校	特別支援学校							
学校教育	男	3					1	2					
	女	5	1						1	2	1		
教科教育	男	13	2	1	4		1	1	2	1		1	
	女	10	2	2				1		3		2	
計	男	16	2	1	4	0	0	1	2	4	1	0	1
	女	15	3	2	0	0	0	0	1	0	4	2	3

※私学大学（非常勤講師・講師）は私学教員へ  
 ※大学職員（非常勤）は官公庁等へ  
 ※現職教員は元々の学校へ

## 心理教育相談室

心理・発達・教育に関する相談および研究を行い、地域社会に貢献するとともに、教育学研究科学校教育専攻臨床心理学コースの教育に資することを目的としています。

### 事業内容

#### (1)相談事業

地域社会における子どもから大人までを対象として、こころの問題・発達の問題・子育てに関する問題の相談を受け付けています。

#### (2)専門家に対する支援

学校教員など対人援助の専門家に対する支援（コンサルテーションやスーパービジョン）を行っています。

#### (3)臨床心理実習

臨床心理士をめざす臨床心理学コースの大学院生の臨床心理実習の場として機能しています。

#### (4)調査・研究

相談業務や臨床心理学に関する調査・研究を行っています。

**相談受付専用電話 097-554-7555（月～金 10時～17時）**  
**相談は有料です。**



プレイルーム



面接室

## 授業担当教員紹介

(平成28年4月1日現在)

## 教育学部

### 学校教育教員養成課程

#### 小学校教育コース (専門分野別)

教育学：	(教授)	伊藤 安浩、住岡 敏弘
	(准教授)	鈴木 篤、長谷川祐介
教育心理学：	(教授)	藤田 敦
幼年教育：	(准教授)	田中 洋、永田 誠
国語：	(教授)	田畑 千秋、藤原 耕作、堀 泰樹
	(准教授)	花坂 歩
社会：	(教授)	黒川 勲、土居 晴洋、鳥井裕美子、平田 利文
	(准教授)	青柳かおり、甘利 弘樹、小山 拓志、鄭 敬娥
数学：	(教授)	川崎 道広、家本 宣幸、馬場 清
	(准教授)	大隈ひとみ、大野 貴雄、中川 裕之
理科：	(教授)	芝原 雅彦、高濱 秀樹、中島 俊男、仲野 誠、藤井 弘也、三次 徳二
	(准教授)	泉 好弘、大上 和敏、永野 昌博、西垣 肇
	(特任教授)	山下 茂
音楽：	(教授)	栗栖由美子、田中 星治、松田 聡、松本 正
	(准教授)	清水 慶彦
美術：	(教授)	久間 清喜、田中 修二、廣瀬 剛
	(准教授)	藤井 康子
保健体育：	(教授)	麻生 和江、石橋 健司、住田 実、谷口 勇一、玉江 和義
	(准教授)	田端 真弓
技術：	(教授)	市原 靖士、谷野 勝敏
	(准教授)	島田 和典、中原 久志
家庭：	(教授)	財津 庸子、望月 聡
	(准教授)	大野 歩、川田菜穂子、都甲由紀子
外国語：	(教授)	池内 宣夫、佐々木博康、御手洗 靖、柳井 智彦
	(准教授)	橋本美喜男

#### 特別支援教育コース

(教授) 古賀 精治  
(准教授) 衛藤 裕司  
(講師) 藤野 陽生  
(特任教授) 田中 新正

#### 附属教育実践総合センター

(准教授) 麻生 良太、佐藤 晋治、渡邊 和志  
(講師) 清水 良彦、森下 寛

## 大学院教育学研究科

### 教職開発専攻

#### 学校経営コース

(教授) 有定 裕雅、福本 昌之、別木 達彦  
(准教授) 大島 崇、雪丸 武彦  
(特任教授) 山崎 清男

#### 教職実践コース

(教授) 市原 靖士、今村 裕、森 才三  
(准教授) 竹中真希子、土谷 陽史、福地 広之、渡邊 早苗

### 学校教育専攻

#### 学校教育コース

(教授) 伊藤 安浩、川崎 道広、古賀 精治、古城 和敬、財津 庸子、住岡 敏弘  
住田 実、平田 利文、藤田 敦、堀 泰樹、松本 正、御手洗 靖  
三次 徳二、柳井 智彦、武内 珠美、渡邊 亘  
(准教授) 麻生 良太、衛藤 裕司、河野 伸子、佐藤 晋治、鈴木 篤、田中 洋  
田端 真弓、中川 裕之、永田 誠、中原 久志、長谷川祐介、花坂 歩  
藤井 康子、溝口 剛  
(講師) 藤野 陽生

#### 臨床心理学コース

(教授) 古賀 精治、武内 珠美、渡邊 亘  
(准教授) 河野 伸子、佐藤 晋治、溝口 剛

# 沿革

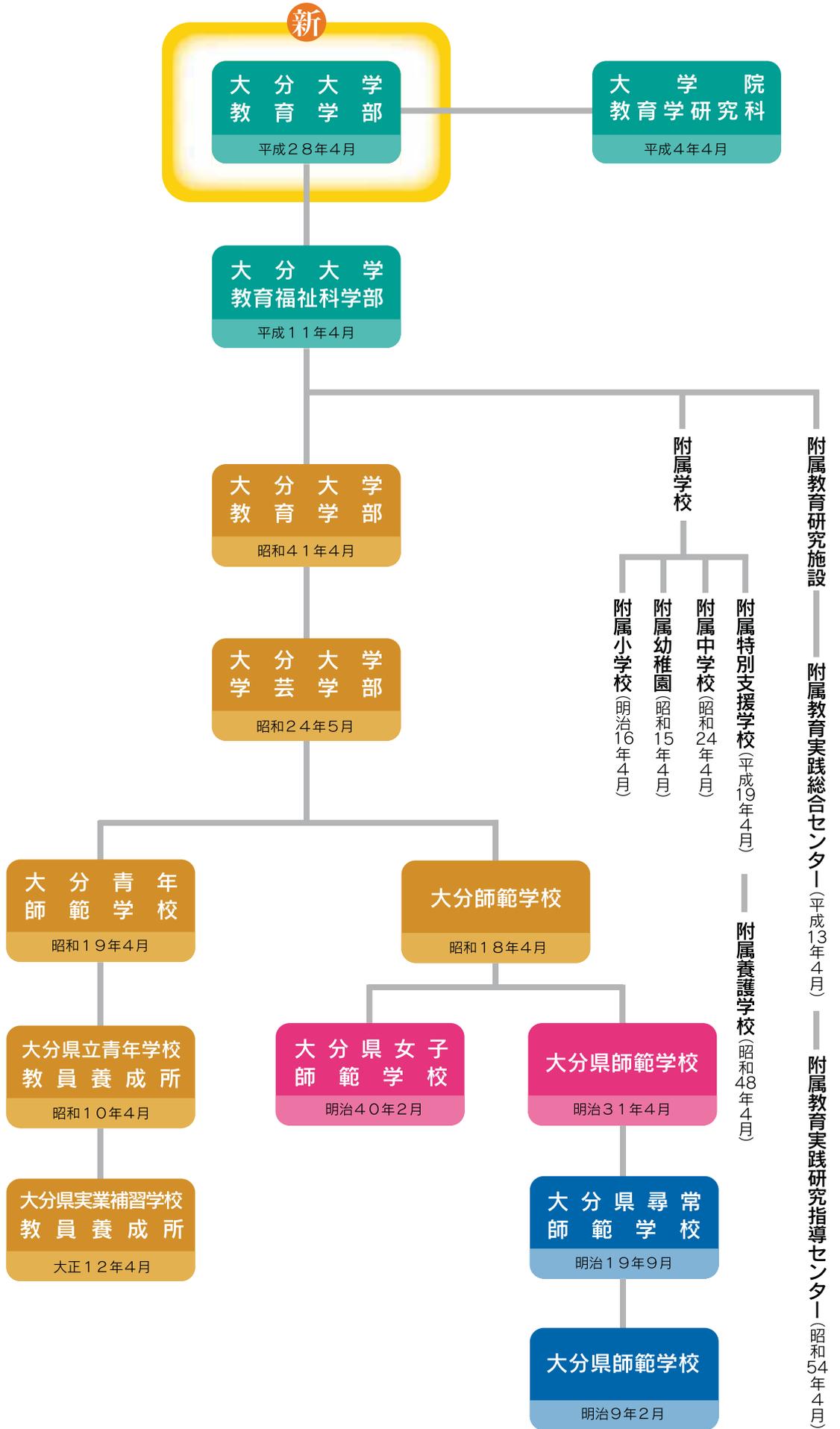
History

学校教育教員養成課程  
(平成28年4月)

- 学校教育課程 (平成11年4月)
- 情報社会文化課程 (平成11年4月)
- 人間福祉科学課程 (平成11年4月)

- 学校教育教員養成課程 (平成9年4月)
- 養護学校教員養成課程 (昭和41年4月)
- 情報社会文化課程 (平成9年4月)
- 人間福祉科学課程 (平成9年4月)

- 中学校教員養成課程 (昭和24年5月)
- 小学校教員養成課程 (昭和24年5月)
- 養護学校教員養成課程 (昭和41年4月)
- 幼稚園教員養成課程 (昭和47年4月)
- 教育専攻科 (昭和40年4月)
- 情報社会文化課程 (平成元年4月)



# 附属教育実践総合センター

Center for Research in Education and Human Development

## ■ 設置の目的と事業内容

附属教育実践総合センター（以下「実践センター」）は、昭和54年に教育実践指導センターとして開設以来（平成13年に改称）、教育実践に関する理論的・実践的研究を行うとともに、教育実践の指導力を身に付けた教員の養成を担ってきました。

本年度からは、学部改組にともない一層の機能強化を目指し、教育実践開発部門（教育実践研究、教員養成支援、教師教育実践、教育実践の指導）と発達教育臨床部門（発達障害臨床、教育臨床実践の指導）の2部門で、学部附属校園との共同研究・育ちと学びの相談・教育実習・教師育成サポート推進室・まなびんぐサポート・地域の教育委員会等との連携などの事業を展開しています。

### 1 大学と附属校園との連携・協力

教育学部と附属校園が連携・協力し、教育実践研究や発達教育臨床研究、教育実習をより効果的に進めていくために、大学と附属校園による「人材バンク」の相互活用を図っています。実践センターは、これらの成果を「教育実践総合センター紀要」「教育実践センターレポート」にまとめ、定期的に刊行し公開しています。

### 2 育ちと学びの相談

発達障害、知的障害のある子どもや保護者に対するカウンセリング、教師などへのコンサルテーション、および訪問相談など、臨床心理士の資格を有する専任教員が子どもの育ちと学びに関する相談活動を展開するとともに、地域の相談ネットワークの中核としての役割を果たしています。

### 3 教育実習関連事業

教育実習の円滑な実施、また学生が充実した教育実習を行えるよう、教育実習の事前指導及び事後指導の企画・立案・実施を行っています。ほかに、2年次に公立校園で行われる教職展開ゼミの事前指導及び事後指導の実施にも携わっています。実施にあたっては、大学教員だけでなく、附属校園や地域の教育委員会等の協力を得て、きめ細やかな指導を行うことで、学生の教員としての資質形成が図られるように取り組んでいます。

### 4 教師育成サポート推進室

教師育成サポート推進室は、一人ひとりの学生が持っている教育観・子ども観・授業観をもとに目指したい教師像を具体化し、その教師像に近づけるようにサポートします。具体的には、教師としての資質・能力を磨く場として「教サポ講座」「教育臨床講座」「授業力養成講座」を開講しています。また、教員採用試験に向けて「模擬授業・場面指導」「集団討論」「個人面接」「願書・論作文」の個別対策を行っています。

### 5 「まなびんぐサポート」事業

平成16年度に大分市教育委員会との連携事業として開始された「まなびんぐサポート」事業では、学校現場からの支援要請に応える形で地域の幼稚園、小・中学校に大学生を派遣しています。実践センターでは、「まなびんぐサポート」事業の参加学生が学校現場での様々な体験・経験を通じて実践的指導力を高めることができるよう、企画・運営の担当及び教育効果の検証等を行っています。

### 6 地域の教育委員会等との連携

実践センターは、大分県内の各地域の教育委員会等と連携し、学校教育分野での様々な協力を推進することを重要な役割の一つとしています。大分市教育委員会とは平成15年から大分市現職教員教育等連携推進協議会を共同で設置し、「まなびんぐサポート」のほか、現職教員の資質能力の向上および教員養成教育に関する連携・協力などを行っています。

# 教育研究所

Research Institute of Education

## ■ 事業内容

### 1 「教育学部研究紀要」の編集・発行

人文・社会、自然、教育、表現、福祉の5分野の原著論文および文献概要等を収録しています。

昭和27年3月に創刊し、年2回（昭和55年までは年1回）発行。平成28年3月には37巻3号を発行し、これまでに174分冊、掲載論文数1,572編を数えるに至りました。

本紀要は国内・国外の大学、高専、研究所および学会の紀要・学会誌等と交換し、互いに研究や教育のための資料として利用されています。

### 2 総合学術研究の推進

各分野の本学部教員および学外研究者の協力によって、地域の学術的総合調査・研究を行ってきました。これまで次の9地域について、それぞれ3カ年の研究成果を調査報告書にまとめ刊行しました。

①「くじゅう」	1968（昭和43）年
②「大野川」	1977（昭和52）年
③「豊後水道域」	1980（昭和55）年
④「国東半島」	1983（昭和58）年
⑤「大分川流域」	1986（昭和61）年
⑥「山国川」	1989（平成 元）年
⑦「日田・玖珠地域」	1992（平成 4）年
⑧「宇佐・院内・安心院地域」	1995（平成 7）年
⑨「別府湾沿岸地域」	1998（平成10）年

### 3 「教育研究所報」の発行

昭和47年3月に創刊し、年1回発行。内容は、次の通りです。

- 1) 前年度退職教員の研究生活
- 2) 教育研究学内特別経費に係る研究の報告
- 3) 前年度大学院修了者の修士論文要旨
- 4) 教育研究所事業報告

### 4 温補講習会

各研究室（コースまたは選修・分野）毎に教員、学生、卒業生が集まり、学術講演・講習・教育実践の報告等を行い、大学と卒業生の親睦・連携を図っています。昭和43年からはじめられ毎年約4～5件程度の講習会が実施されています。

### 5 紀要、雑誌の受け入れと保管

全国の大学（529校）とその他の教育研究機関（387機関）から、合計約9,852種類以上の紀要、雑誌を受け入れて保管しています。



大判プリンターとコピー機



教育研究所内の書庫

# 附属学校園

## Attached School

教育学部には、附属の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が設置されており、それぞれの学校園として通常の教育を実施するとともに、次のような特別な任務を持っています。



四校園こども集会



無言清掃

### 教育実習指導

教育学部学生の教育実習を計画し、直接その指導にあたります。

### 教育研究

教育学部教員と協力し、各校園の教育理論と実践とに関する研究並びにその実証的な研究を行います。

### 地域教育への協力

研究発表会、共同研究会、研究協議などを通して、他の学校と教育交流を図り、地域の教育研究に協力します。

## 附属幼稚園

**教育目標** 心豊かなやさしい子ども ★ゆたかに生きる  
工夫し楽しく遊ぶ子ども ★かがやいて生きる  
元気いっぱい活動する子ども ★たくましく生きる

### 学級数及び園児定員数

平成28年度

区分	普通学級			計
	3歳児	4歳児	5歳児	
学級数	1	2	2	5
総定員	20	70	70	160



気持ちいいねえ

## 附属小学校

**教育目標** 一人一人の人權が尊重され、平和な国際社会を創造する人間としての資質の向上を目指し、社会の一員としての豊かな人間性や普遍的な知性を育み、自らを鍛えることのできる強い意志や体力を養う。



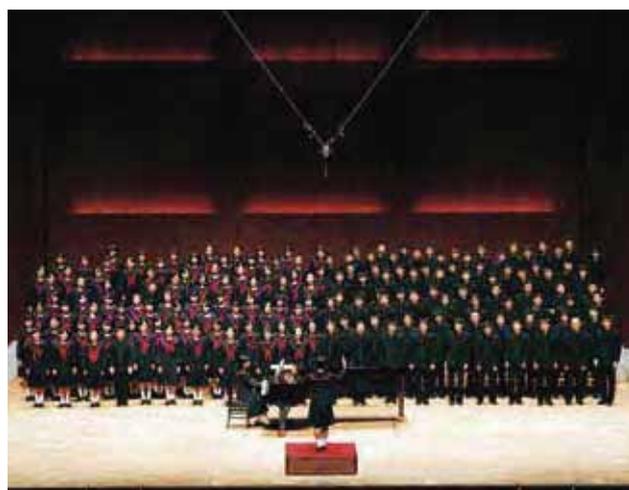
外国語活動

### 学級数及び児童定員数

平成28年度

区 分	普通学級						計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
学級数	3	3	3	3	3	3	18
総定員	105	105	105	105	105	120	645

## 附属中学校



青垣祭・合唱コンクール

**教育目標** 豊かな学びを基盤とし、高い志と広い視野を持つ実践力に富んだ生徒の育成を図る。

- ◎高い学力
- ◎深い愛の心
- ◎堪え忍ぶ力

### 学級数及び生徒定員数

平成28年度

区 分	普通学級			計
	1年	2年	3年	
学級数	4	4	4	12
総定員	160	160	160	480

## 附属特別支援学校

**教育目標** 個人の尊厳を重んじ、児童生徒一人一人の心身の発達に応じて、小学部、中学部並びに高等部の各課程を通して、調和のある一貫した教育を行い、自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、身近生活の確立をはじめ、集団生活、社会生活、職業生活への適応性を高め、自立的・主体的な生活ができる人間の育成をめざす。

### 学級数及び児童生徒定員数

平成28年度

区 分	小学部			中学部				高等部				合 計	
	1-2年	3-4年	5-6年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年		計
学級数	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	9
総定員	18				18				24			60	



作業学習「喫茶」



## 教育学部



## 附属学校地区





OITA UNIVERSITY

## 学章

「OITA」と「UNIVERSITY」の頭文字「O」、「U」をモチーフに、躍動感あふれる2つの円でデザインした新しい大分大学の学章(シンボルマーク)です。

外側の円(青色)は、教育、福祉、医療、環境、産業経済、科学技術など新しい大分大学の研究・専攻分野が、常に新しいものを目指し、止まることなく前進し続け、地域の発展、さらには国際社会の発展に貢献するグローバルな様子を表現しています。

中央の円は、人々が集い学び、そして社会的、文化的な交流・活動の場所である大学キャンパスを表現しています。

「O」に使用している青色は、知性、誠実、探求心、自立心を表す色とされており、「U」の黄色は、希望、成長、幸福を象徴する色とされています。

大学の未来が希望に溢れ、光り輝き、そして発展していくようにとの願いを込めて、この2色を採用しました。

作者/神保 米雄 氏

## ACCESS

### 大分大学



- 大分バス利用  
大分バス「中央通りトキハ前①のりば」から「大南団地 高江ニュータウン」行きを利用(約40分)、「大分大学」または「大分大学正門」下車。または「戸次」「臼杵」「竹田」「佐伯」行き等を利用(約40分)、「大分大学入口」下車、徒歩約10分。
- JR利用  
豊肥本線「大分大学前駅」下車、徒歩約15分。
- 車利用  
大分駅から国道10号線を宮崎方面へ約10km。

### 附属学校園



- 大分交通 大分バス利用  
大分駅発 「県立図書館」行き乗車「附属中学校前」「附属特別支援学校前」下車、徒歩3分。
- JR利用  
大分駅より徒歩25分。  
西大分駅より徒歩20分。

## 大分大学教育学部

〒870-1192 大分市大字巨野原700番地 TEL(097)554-7504  
ホームページアドレス <http://www.ed.oita-u.ac.jp/>

発行 大分大学教育学部総務係 TEL(097)554-7504  
E-mail [kyosomu@oita-u.ac.jp](mailto:kyosomu@oita-u.ac.jp)

平成28年6月発行  
表紙デザイン 教育学部教授 廣瀬 剛